



いちばん小さい鳥は何なの

花のみつを吸うハチドリが最小

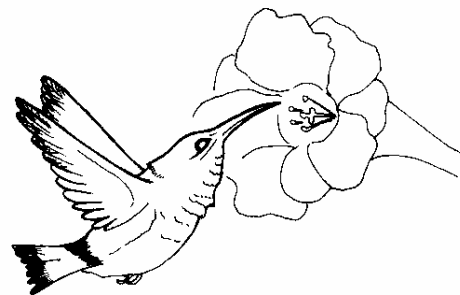
鳥の中でいちばん小さいのは、空中で飛び続けながら花のみつを吸う、ハチドリの仲間です。とくに小さいのが、キューバにいるマメハチドリで、くちばしからおの先までの長さは5.7センチメートルくらい、そのうち半分の長さが、くちばしとおの長さです。体重は1.6グラムで、1円玉2枚分より軽いということです。

大きさ、みつを吸うようすが、ハチそっくり

あまりに体が小さいし、飛びながら花のみつを吸うようすが、ハチや、ガの仲間であるオオスカシバなどにそっくりです。ハチドリという名前も、ハチに似ているからついたものです。ヘリコプターのように飛びながら、空中の1点にとまったかっこうで、みつを吸い、そのままバックして、後ろにはなれていくウルトラワザは、ほかの鳥には、まねができません。

肉食の鳥で、いちばん小さいもの

動物をえさにしている鳥の中で、いちばん小さいのは、東南アジアにいるモモクロヒメハヤブサやシロガシラヒメハヤブサというハヤブサの仲間です。くちばしから、おまでの長さは、14～15センチメートル、体重は35グラムで、ニワトリの卵1個よりも軽いといえます。（監修・今泉 忠明）



飛びながらみつを吸うマメハチドリ

